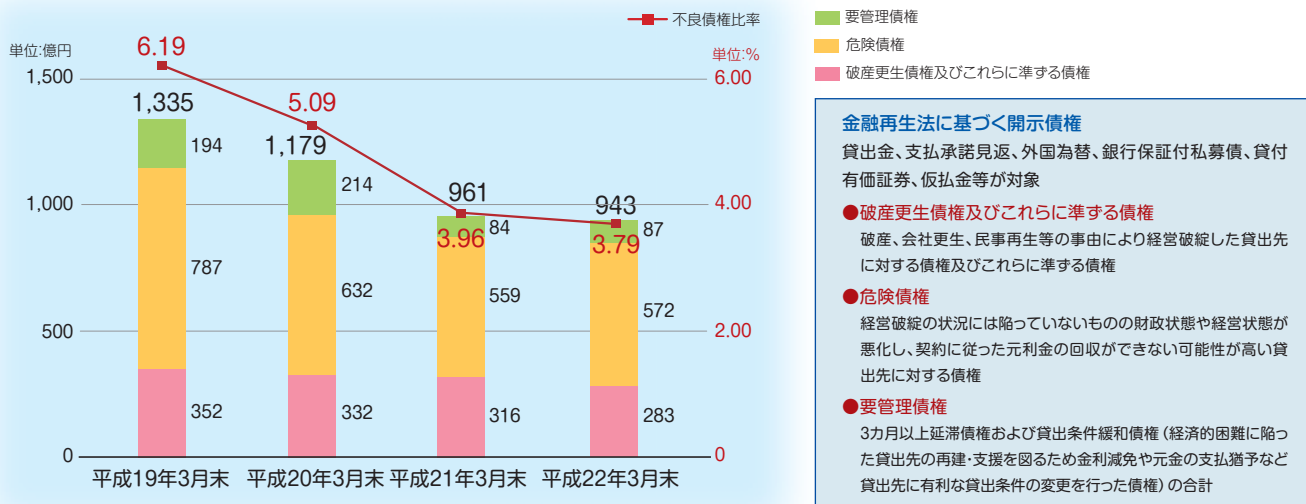


事業の再生支援、経営改善支援による債務者区分のランクアップなどにより不良債権額削減に努めた結果、平成22年3月末の不良債権比率は、前期末比0.17%低下し、3.79%となりました。

また、不良債権残高は前期末比17億円減少し、943億円となりました。

## 不良債権額（金融再生法に基づく開示債権）および不良債権比率 紀陽銀行単体



**金融再生法に基づく開示債権**  
貸出金、支払承諾見返、外国為替、銀行保証付私募債、貸付有価証券、仮払金等が対象

- 破産更生債権及びこれらに準ずる債権**  
破産、会社更生、民事再生等の事由により経営破綻した貸出先に対する債権及びこれらに準ずる債権
- 危険債権**  
経営破綻の状況には陥っていないものの財政状態や経営状態が悪化し、契約に従った元金回収ができない可能性が高い貸出先に対する債権
- 要管理債権**  
3か月以上延滞債権および貸出条件緩和債権（経済的困難に陥った貸出先の再建・支援を図るため金利減免や元金の支払猶予など貸出先に有利な貸出条件の変更を行った債権）の合計

## 不良債権（金融再生法に基づく開示債権）の保全状況 紀陽銀行単体 (平成22年3月末現在)

平成22年3月末の不良債権総額943億円のうち、88.6%は引当金や担保・保証などにより保全されております。

(単位:億円)

区分	与信残高	担保・保証等			引当額	未保全額	保全率	
		優良担保 優良保証	不動産担保	その他				
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	283	249	166	58	24	33	—	100.0%
危険債権	572	408	272	91	44	96	67	88.1%
要管理債権	87	33	5	28	0	14	39	55.1%
金融再生法開示債権合計	943	691	444	178	68	144	107	88.6%
正常債権	23,930							
総与信	24,874							

※優良担保：預金、有価証券等  
※優良保証：政府、信用保証協会、金融機関、上場有配会社等による保証

## リスク管理債権の状況 紀陽銀行単体

(単位:億円)

		平成19年3月末	平成20年3月末	平成21年3月末	平成22年3月末	平成21年3月末対比
リスク管理債権	破綻先債権	52	47	80	59	▲21
	延滞債権	1,072	905	781	784	3
	3か月以上延滞債権	6	10	7	4	▲3
	貸出条件緩和債権	188	203	77	83	6
	合計	1,320	1,167	947	932	▲15
貸出金残高(末残)		21,114	22,725	23,856	24,515	659
貸出金に占めるリスク管理債権の割合		6.25	5.13	3.96	3.80	▲0.16

(単位:%)

※リスク管理債権:貸出金が対象